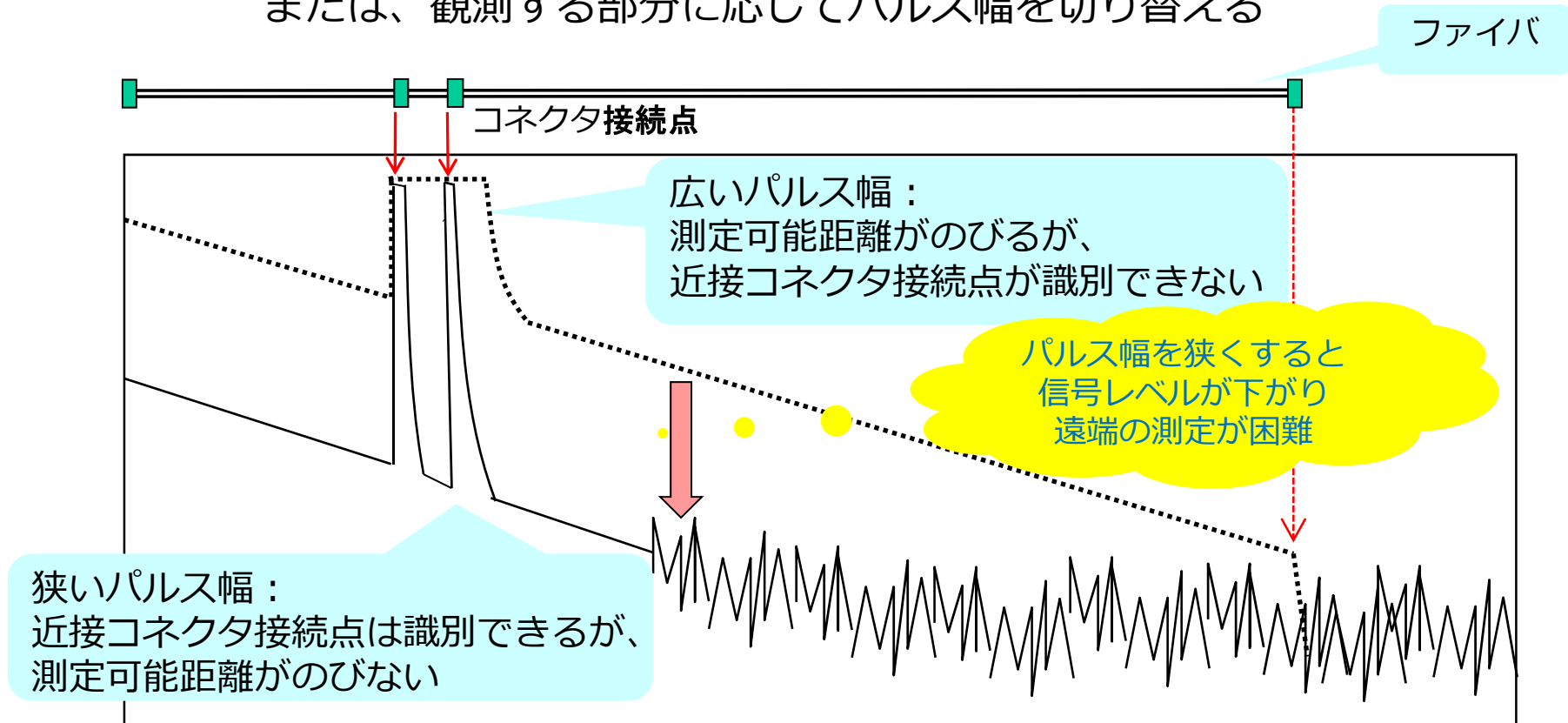


### 3. データーセンター回線での注意点 (1/2)

ビル内配線：短いファイバで多数の接続あり → 高分解能での測定が必要  
ビル外配線：長距離 → 広いダイナミックレンジが必要

しかし、OTDRのパルス幅設定には下記の特徴があり、  
高分解能と広ダイナミックレンジの両立は困難なため、  
線路の状況に合わせて、適切なパルス幅を選択する  
または、観測する部分に応じてパルス幅を切り替える



### 3. データーセンター回線での注意点 (2/2)

ビル内配線では、短い間隔で多数のコネクタ接続あり

- ・コネクタの勘合不良（半差し）による反射
- ・コネクタ端面の汚れによる反射

反射が大きいと、通信速度が低下する危険性あり



OTDRで反射減衰量として測定可能

SPCコネクタ	：	40 dB以上
UPCコネクタ	：	50 dB以上
APCコネクタ	：	60 dB以上
半差し	：	25 dB以上